

重井小中学校の学校再編に係る重井中学校区地域説明会（第2回）議事録

- 1 日 時 令和6年11月21日（木） 19:00～21:10
- 2 場 所 重井公民館
- 3 参集者 地域住民 56人
- 4 説明者 宮本教育長、中濱教育総務部長、小柳学校教育部長
 榎原因島瀬戸田地域教育課長、安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
 小田因島瀬戸田地域教育課地域教育係長、宮崎学校経営企画課企画振興係長（司会）

5 進 行

担 当	内 容
司会者	<p>（19:00 開会）</p> <p>本日はお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>これから、第2回説明会を始めます。本日の会は、挨拶・説明に約35分、質疑に約1時間25分いただき、おおむね2時間を考えております。よろしく願いいたします。</p> <p>はじめに、教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
宮本教育長	<p>（教育長挨拶）</p> <p>皆様、こんばんは。教育長の宮本でございます。</p> <p>開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。昼間のお仕事等でお疲れのところ、本説明会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>最近、重井小学校、重井中学校ともに大変うれしいことがございましたので、はじめに、そのことについてお話をさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、重井小学校でございますけれども、平成21年度から総合的な学習の時間を中心に、地域の方々のご指導の下、特産物であるワケギの栽培活動や販売活動等に取り組み、この度、長年の活動が高く評価されまして、広島県食育推進功労者表彰を受賞されました。誠におめでとうございます。</p> <p>次に重井中学校でございますけれども、先月開催をいたしました、尾道市小中学校芸術祭中学校音楽コンクールにおきまして、審査員奨励賞を受賞されました。私もコンクール当日、会場で重井中学校の合唱を聴かせていただきました。生徒の伸びやかな、そして美しいハーモニーに大変感動いたしました。</p> <p>この両校の受賞は、子どもたちの頑張りは勿論ですが、保護者や地域の皆様の、学校へのご支援の賜物であると大変感謝しております。この度は誠におめでとうございます。</p>

	<p>さて、本日の説明会の流れについてでございますが、もしかすると今日初めて参加される方もおられるかもしれませんので、はじめに、第1回説明会の提案内容のポイントを再度説明させていただきたいと思っております。</p> <p>次に、第1回保護者説明会后に実施しました、保護者アンケートでいただいた質問に関わって、いくらか説明をさせていただく部分があるかと思っております。</p> <p>また、前回重井地域の皆様方からいただきました校名変更の要望についてでございますけれども、9月27日の因北小中学校保護者説明会で、皆様のご意見ご要望をお伝えさせていただきました。そして、その上で因北小中学校の保護者を対象にした保護者アンケートで、校名についての意見をいただいております。さらに、10月9日の因北地域の説明会におきまして、校名変更の要望についてお伝えをさせていただきました。そして、その説明の中の質疑応答の場で、因北地域の皆様方から意見を直接いただいております。</p> <p>こうした取組を踏まえまして、校名について、教育委員会で検討してまいりました結果を本日改めてご説明させていただきます。教育委員会からの説明の後、皆様からのご意見ご質問にお答えしてまいりたいと思っております。それではどうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>司会者</p>	<p>はじめに資料の確認をさせていただきます。1点目は、本日のレジメです。2点目はスライドを印刷した冊子になります。3点目は、資料1、資料2で保護者アンケートを集計したものとアンケートへの回答となっております。それでは、説明を始めさせていただきます。</p> <p>(事務局からの説明)</p> <p>1 第1回説明会の提案内容について</p> <p>○重井小中学校の学校再編について</p>
<p>金子教育指導課長</p>	<p>本日は、第2回地域説明会にお越しいただきありがとうございます。これから、子どもたちの未来を拓く、小中一貫教育校による新たな学びの創造と題して、重井小中学校の学校再編について説明をさせていただきます。</p> <p>教育委員会では、再編後の学校の姿として、「子どもたちが元気に明るく学校に通い、切磋琢磨しながら生き生きと学ぶことができる学校」、「保護者・地域から愛され、誇りに思える学校」を目指していきたいと考えています。本日の説明は、スライドにあるように、大きく4点。</p> <p>1 第1回説明会の提案内容について</p>

○重井小中学校の学校再編について

○小中一貫教育校について

- 2 重井小中学校保護者アンケートへの回答について
- 3 重井小中学校の学校再編・校名の方向性について
- 4 今後のスケジュール（案）について の順で説明をいたします。

それでははじめに、1 第1回説明会の提案内容について、改めて確認しておきます。

重井小中学校の学校再編について、令和9年度、重井小学校と因北小学校は因北小学校に、同じく令和9年度、重井中学校と因北中学校は因北中学校に学校再編します。学校施設は、因北小学校、因北中学校とします。令和9年度の学校再編と同時に、小中一貫教育校へ移行することを目指します。

○小中一貫教育校について

小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指す学校です。

尾道市内2番目となる小中一貫教育校で新たな学びを創造し、尾道スタンダードとして市内へ発信していきます。

提案している小中一貫教育校は、因北小学校、因北中学校の2つの学校からなり、それぞれの学校に校長が配置され、教職員組織があります。小中一貫教育校は、小学校と中学校が共通の学校教育目標や目指す子ども像の下、義務教育9年間を通した系統的な教育課程を編成します。このことにより、これまで以上に魅力的で子どもたちに力を付けることのできる教育が可能になると考えています。

また、教育研究の研究主題や生徒指導規程等、学校運営上必要な事項の多くが小学校と中学校で共通となるため、授業や生徒指導において、教職員が共通の指導方法で9年間児童生徒に対応することが可能となり、子どもたちにとっても、小学校から中学校へスムーズに接続することができると考えています。

小中一貫教育校では、コミュニティ・スクール化、小学校に専科教員の配置、中学校に不登校支援のためのSSRというスペシャルサポートルームの設置、小学校に通級指導教室という通常学級に在籍する学習障害や注意欠陥多動性障害等の児童に対して、児童一人一人の障害の特性に応じた特別の指導を週に2時間程度行う通級指導教室の設置、ALTの常駐化、学校司書の配置、スクールソーシャルワーカーの常駐化等を

行い、教育環境の充実に力を注いでいきます。

教育内容については、目指す子ども像や育てたい資質・能力を小中9年間の一体的な学びで実現させていくためには、これまで各学校が培ってきた学びを大切にしながら、新しい学校の特色を出していくことのできる教育内容を創っていくことが大切であると考えています。

尾道市では今年度から「グローバル」「ローカル」「尾道らしさ」を推進する事業を進めています。小中一貫教育校では、尾道「因島」らしさを土台として、「グローバルな学び（世界を意識した学び）」と、「ローカルな学び（尾道「因島）」という地域を活かした学び」を組み合わせ、尾道「因島」らしさのある9年間の教育内容を創造し、子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を図っていきます。

これは児童生徒が成長した姿を発表するイメージ例です。

左側は、小学校での学びの集大成として、総合的な学習の時間等で学んだ「ふるさと学習」の学びを発表する場のイメージです。保護者や地域の方と、子どもたちの成長を喜び合いたいと考えています。

右側は、中学校で、小中9年間の学びの集大成としての「因島からの政策提言発表会」のイメージです。夢の実現や社会的自立に向け、地域に貢献することのできる生徒の姿を、保護者や地域の方に見ていただきたいと考えています。

このような因北中学校区小中一貫教育校の学びを、市内全体に発信、普及していきます。

ここまでが前回説明会の振り返りとなります。

2 重井小中学校保護者アンケートについて

ここからは、第1回保護者説明会アンケートの回答状況を紹介します。資料1をご覧ください。

アンケート回答期間は8月23日（金）から9月6日（金）まででした。重井小中学校の児童生徒数は76人、家庭数は小学校40、中学校21、計61家庭です。ただし、小中学校の重複は考慮しておりません。回答数は小学校25人、中学校13人で、計38人、回答率は62.3%でした。

まず、保護者アンケートでいただいた意見等を紹介します。配布資料1をご覧ください。

質問1 重井小中学校の学校再編案（説明内容）についてのお考えをお聞かせください。回答件数は13件でした。

榎原課長

回答内容として、「小中一貫教育校にする目的と現在の教育方法との違いを教えてください。」「資料について理解できた。」「中学校の通学対策について、学校までバスがあればよい。」「書面では分かりにくいので次回は説明会に参加したい。」「少人数ならではの教育ができて重井小学校は残してほしい。」「重井小中を残してほしい。」「保護者の思いがあまり反映されていない印象。」「因北小になれば不登校になるでしょう。教育委員会は子どものことを考えていない。」「もっと早く尾道本土の学校のように対応してほしい。」「重井小中の良さを因北小中でも生かしてもらいたい。」でした。

次に、質問2、回答件数は10件でした。1件の中に複数の意見がありました。

「学校行事開催の時には、駐車スペースについて配慮してほしい。」「中学校の部活動施設（テニスコート、小学校の活用）について充実させてほしい。」「スクールバスの時間、便数について具体的にどうなるのか。」「地域の意見も大事だと思うが、一番大事なのは学校に通う生徒だと思う。」「可能であれば、今入学している児童が卒業するまで存続してほしい。」「重井や中庄、大浜、鏡浦、外浦、西浦を大事に思える教育を推進してほしい。」「中学生の自転車通学に備えて通学路の安全対策をしてほしい。」「金銭面で負担のかかるものは、全額教育委員会が負担してほしい。」「制服や体操服の支給についてはどうなるのか。」「閉校後の跡地利用はどうなるのか。」でした。

配付資料2は保護者アンケートへの回答一覧です。この配付資料は、10月15日付で保護者の皆様へ配付し、昨日の説明会でも配付している資料となります。学校再編や小中教育一貫校等の質問をいただいております。回答は後ほどご一読ください。

次は、スライド17からの説明になります。

3 重井小中学校の学校再編・校名の方向性について

重井中学校区地域説明会において、スライド画面にありますように「学校名、校歌、校章を新しくし、新設校にしてほしい。」という意見や要望をいただきました。その中で、「因北小中学校の保護者、地域説明会で伝えてほしい。」と要望がありましたので、因北での説明会において、重井地域の皆様の意見や要望を紹介しました。画面に表示しているのは紹介した意見の一部です。

因北中学校区地域説明会での意見を紹介します。

安保学校経営
企画課長

「統合時期や今後のスケジュールについては良い。このまま進めてほしい。校名を変えることにはいろんな問題がある。このスケジュールの中で、その問題を解決できるのか。また、学校名、制服、体操服等、保護者の負担になるのではないか。これらの事を考えると、校名を変えることには賛成できない。校名については合意形成を図って決定してもらいたい。」

因北小中学校保護者説明会では、校名に関する直接的な意見はありませんでした。

次に、因北小中学校保護者アンケートですが、アンケートの回答数は、168人、回答率は45.4%、記述をされていたのは41人です。

その中から、「学校名を変更する必要はないのではないか。」という意見は19件ありました。

その意見をまとめたものがスライド画面になります。

少し長くなりますが、出された意見を紹介させていただきます。

「因北小中学校の名称の変更をしたいと言う話しが出ていると聞きました。重井の方のお気持ちは分からなくはないが、変更に伴う費用などを使用するのであればもっと子どもたちの為に当てて欲しい。因南の合併の時とは違い、因北が母体となり、そこに重井小中の子どもたちが入り新たな因北小中学校を再編を進める事が良いと思います。」

「説明会の中で、重井の方からの質問や要望を紹介された際に思わぬ意見があり、驚きました。因北も廃校にし、新しく学校を作るという意見がありました。想定していなかったなので、その意見には反対させていただきます。生徒数や、クラス構成、教室の確保、耐震や、冷暖房設備についても、支障なく現状を維持できるという説明でしたので、学校は存続できると思っておりました。新しくするのであれば、学校名だけでなく、制服、校歌など、費用もかかります。可能な限り、今の因北を残していただきたいです。」

「再編にあたり、統合ではなく新設校にという意見がありました。確かに、新たな気持ちになれて良い面もあるとおもいますが、今までは変わることがなかったものを、この度は変えるというのはどうなのかな。と思いました。」

「学校名称について変更を求める声があがっているとニュース記事で拝見しましたが、全ての負担を考えると学校名称変更にかかわる事に共感出来ません。名称変更をするのであれば、それこそ相応の理由が必要と思われます。学校へ通うのは児童や生徒達であって、そんな事に経

小田 因島瀬戸
田 地域教育課
地域教育係長

費を使うのであれば、子どもたちのために学校設備に投資して欲しいと保護者として強く思います。」

「因北中か因島北中か検討とメディアに載っていましたが、変更なし、因北中でいいと思います。名称変更により、校歌、色々な登録、学校名が入っている名札、体操服など多くの変更が必要になり、学校及び個人の負担が考えられます。その分、通学する生徒たちに還元して欲しいです。」

「新設校にして欲しいとのご意見を聞きました。新設にすれば費用がかなりかかるのではないのでしょうか。今後、子どもの数は減っていき、因島に小中が1校ずつになるかもしれません。近い将来のような気がします。わざわざ今、学校名を変える必要があるのでしょうか。」

「学校名や校歌を新しくしたいという地域や保護者の意見も分かりますが、一番は児童生徒が楽しく安全快適に過ごせる環境を整える事だと思うので、そちらに時間やお金をかけてほしいと思います。子どもたちの意見も聞いて反映して欲しいです。」

「学校名、校歌変更のご意見もあるようですが、すでに合併した学校名が因北なので、変える必要は無いと思います。変える場合にかかる労力や費用も大きいのでは。それならば、合併時に負担となる家庭への補助金などにあててもらいたい。」

「統合する場合には新設校にして欲しい。とあるが、必要はない。新しい校歌、校章を作らなくても尾道市立因北小中学校のままでいいのでは。大浜小学校と統合した時も校歌、校章は変わっていないと聞きました。なぜ重井小学校と統合する時は変えるのか。学校名、校歌、校章を変えるなら校舎も建て替えて欲しい。」

「制服、体操服などを新しくされるのは嫌です。今でも制服の金額は高く兄弟で回しながら着せたいのに合併するから学校の名前も変わるからといって制服、体操服などを新しくするなら合併しても名前は今のまま因北中の名前で制服、体操服をそのまま使うようにしてほしい。」

安保学校経営
企画課長

学校再編についての意見は23件ありました。
その意見をまとめたものがスライド画面になります。

小田因島瀬戸
田地域教育課
地域教育係長

出された意見を紹介させていただきます。
「どんどん子どもの数が減少していく中で、学校の再編はしかたないと思います。」
「令和9年度に再編になるようですが、もっと早くしていただきたいと思いました。」

「生徒数等を考えると、学校再編は仕方ないと思いました。生徒が困る事の無い様によろしく願います。」

「実際に通う事になる子どもたちにとって最善でより良い環境になる事を願っています。」

「就学前から一緒の子もいるので、統合しても問題なく小学校に入学できると思います。」

「地域の声も大切ですが、これから通う実際の保護者や子どもたちの意見を大切にしていきたいです。」

「色々大変なことがあるかと思いますが、子どもたちが誇りを持ち、元気に通えればと思います。」

「直ぐにでも再編した方が子どもたちの為だと思います。」

「因北、重井の子ども同士、少しでも弊害が無いよう、合併するまでに交流する機会を多く作っていただきたいと思います。」

「今現在の子育て世代の意見や要望を大きく取り入れてもらいたい。何よりも第一に、これからの子どもたちのことを考えて進めていただきたい。」

「通う子どもたちが、元気に楽しく過ごせる学校づくりをしていただきたいです。」

「重井小中も、因北小中もそれぞれ引き継ぎたい歴史や伝統があるとは思いますが、新しい学校の伝統を創って行くのはこれからの子どもたちだと思います。OBの思いを押し付けない学校作りをしていただきたいと思います。」

安 保 学 校 経 営
企 画 課 長

因北中学校区地域からの意見としては、

「保護者説明会、地域説明会後に校名変更について話題になることはない。関心が低いのではないか。」

「校名や制服等を変えることに予算をかけることには賛成できない。公費と言えども税金である。」

「校名変更して表われる効果より、多額の予算をかけて負担が増えることが心配である。」

「大浜の統合では学校名を変えなかった。大浜住民の心情にも配慮してほしい。」

「今後も、学校再編に向けては協力する。」

というような意見を聞いております。

ここで、前回提示させていただいた、尾道市教育委員会の学校再編の考え方を再度確認させていただきます。

本市では、子どもたちの安全・安心の確保はもとより、教育環境の充実を目指し、適正な学校規模の確保を基本として、小中学校の学校再編を進めてまいりました。

今回の重井小中学校の学校再編は、(1) 適正な学校規模の確保 複式学級の早期解消という基準に該当するため提案しているということになります。

校名の方向性について、教育委員会の考え方です。

方針は、令和9年度重井小中学校を因北小中学校に学校再編する。

校名及び場所は、因北小学校、因北中学校とする。

令和9年度に因北小中学校小中一貫教育校に移行する。

理由として、1つ目は子どもたちの教育環境を充実させるということです。今回の学校再編は、学校再編計画の再編基準に基づいた提案です。重井小学校では、毎年複式学級が生じる。重井中学校では、全校生徒数の減少により小規模化するという状況が見込まれるため、できるだけ早期に、児童生徒が切磋琢磨できる適正規模の教育環境を充実していきたいと考えています。また、重井小中学校の子どもたちの教育環境を充実させていくと共に、因北小中学校の子どもたちの学びを充実させていくため、小中一貫教育校へ移行し、尾道（因島）らしさのある9年間の教育内容を創造していきたいと考えています。

理由の2つ目は、校名変更について、賛同する考えや雰囲気が醸成されていないということです。

現在のところ、重井中学校区地域説明会の後、新聞報道もなされ、約2か月が経過しました。また、因北小中学校保護者や因北中学校区地域を対象とした説明会において、重井中学校区地域説明会で出された意見や要望を紹介しました。

これまでに、因北小中学校保護者や因北中学校区地域から、校名変更に対し賛同する意見や要望は出ていません。財政負担への影響、保護者負担の増加、大浜地域への配慮が必要等、校名変更の必要性を疑問視する意見や反対する意見が出ています。

因北小中学校の保護者、重井小中学校の保護者、両者ともに、教育環境の充実や通学路の安全対策、通学支援の充実を望む意見や要望が多かったと認識しています。

これらの状況から教育委員会として、校名変更はせず、提案通りの方向で進めていきたいと考えています。

なお、学校の廃止や校名について、教育委員会としての意思決定は、

<p>榎原因島瀬戸 田地域教育課 長</p>	<p>教育委員会会議ですることとなります。また、その後、尾道市議会に議案として提出し承認されれば最終決定となります。</p> <p>4 今後のスケジュール（案）について</p> <p>ここに提示していますのは、大まかな今後のスケジュールになります。</p> <p>令和7年度からは学校再編が決定したと仮定してのスケジュールとなります。令和6年11月に、重井中学校区保護者説明会・地域説明会、12月に因北中学校区保護者説明会・地域説明会を実施していきます。</p> <p>令和7年度は、因北中学校区小中一貫教育校準備委員会（仮称）を立ち上げ、教育内容、通学対策等を協議していくとともに、児童生徒間交流を実施していきたいと考えています。</p> <p>また、重井小中学校閉校記念事業実行委員会の立ち上げについても検討していき、令和8年度末には、重井小中学校閉校式、閉校記念事業を実施できればと考えています。</p> <p>そして、令和9年度から因北中学校区小中一貫教育校をスタートしたいと考えています。</p> <p>「子どもたちの未来を拓く」ために、重井小中学校・因北小中学校保護者、重井中学校区・因北中学校区地域、学校、教育委員会で力を合わせ、因北中学校区小中一貫教育校による新たな学びを創造してまいりましょう。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>司会者</p>	<p>(質疑応答)</p> <p>続いて質疑応答を行います。ご質問のある方は挙手をお願いします。</p>
<p>質問者A</p>	<p>統合問題懇談会の事務局をしております〇〇と申します。</p> <p>新しい学校名を反対する意見をたくさん紹介をしていただきました。我々は地域住民は、因北小学校がある限り説明を求められます。「なぜ因北小学校なんですか。」「なぜ因島北小学校にならなかったんですか。」と、ある限りずっと説明を求められます、我々が。説明する責任があると思います。その時に、先ほど紹介してもらったように、「余所の地域から反対意見がたくさんあったから。」これは理由には我々はしたくありません。周りの住民を悪者にする気は全くありません。因島北部地域が一つになってこれからの学校を創っていく。だから「周りから反対されたからこうなったんですよ。」という説明は我々はしたくないし、子</p>

どもも保護者もされたくないと思うんですね。そこで改めてちょっと確認をさせていただきます。

8月21日に市議会の全員協議会で、学校再編について市教委が初めて公にしました。今の説明のとおりでいけば、重井の子どもたちは因北小学校の正門をくぐって、因北小学校の校歌を歌って、因北小学校の卒業生の写真がずらっと並んでいるような、そういう学習環境で毎日勉強をしていくという、そういうことになるわけですね。あそこの表に書いてあるように、令和9年度以降は1対2から、1対3、4分の1から3分の1は重井の子どもたちということが続く中で、そういう状況になる。前回、我々が説明しましたがけれども、こういう地域間の関係の中で、いわゆる今回は編入ですね、吸収統合だと我々は受け止めております。で、そういうふうな例は、尾道市以外での県内の例は一例もない。一例もないんですね、この広島県内で。これもし、異論があったらまた説明してください。そういう中であって、8月21日に今回のように重井小学校、重井中学校は因北小中学校へ編入という案を提案したこの根拠を、教育委員会の考え方をまず明らかにしてほしいなと思います。なぜこういうふうなこだわりが必要なのか、因島、どんどんどん因北という名前が消えていっておりますけれども、学校については南に因島南があっても因北なんだという、この根拠を明確に、教育委員会としてまず説明をしていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

小柳学校教育
部長

このたびの重井小中学校の学校再編につきましては、学校再編計画の再編基準に基づいた提案ということでございます。

重井小学校では、毎年複式学級が生じる状況、それから重井中学校では全校生徒数の減少により小規模化するという状況が見込まれるため、できるだけ早期に児童生徒が切磋琢磨できる適正規模の教育環境を充実していきたいと考えているからでございます。

重井小学校については、複式学級があるということで再編基準に該当しますが、因北小学校は再編基準に該当していないということが、校名変更を提案していない1番の理由になります。例えば、平成27年度に学校再編しました因島南小学校でありますと、土生小学校、三庄小学校、田熊小学校、これは再編基準の耐震化がされていなかったということで、3校とも再編基準を満たしているということで新設になっております。その前の平成25年とかでいきますと、瀬戸田小学校に南小学校、東生口小学校が、これは瀬戸田小学校に再編になっておりますけれども、南小学校と東生口小学校は複式学級があって、再編基準を満たしておりましたが、瀬戸田小学校は再編基準を満たしていないということ

<p>質問者 A</p>	<p>で、瀬戸田小学校となっております。瀬戸田中学校や美木中学校でいいますと、生口中学校や原田中学校の小規模化ということで、瀬戸田中、美木中にそれぞれ再編しているというふうに、基本的には再編基準を満たしているか、満たしていないかというところで、私たち尾道市教育委員会とすれば、再編のやり方というのをやっております。</p> <p>他の自治体のことも申されましたが、この再編基準というのは自治体ごとに決められているものですから、尾道市と例えば福山市とか三原市とか、単純にそういうところは比較することはできないものと考えております。</p> <p>もういっぺん、先ほどの再編基準というところを詳しく説明してもらえませんか。申し訳ない、ちょっと理解できませんでした。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>スライド 22、平成 23 年 12 月に再編計画を作っております、これ以降の尾道市内で学校再編をしている学校というのは、この基準に基づいてさせていただいております。(1)の方は、適正な学校規模の確保ということで、切磋琢磨できる教育環境を充実させるということで、複式学級の早期解消ということで、複式学級のある学校については再編対象となっているということになります。それによって、1 学年複数学級化も推進を図っております。</p> <p>また、先ほど例でも申しましたが、田熊小や土生小、それから三庄小については(2)が該当するということで、学校施設の耐震化がされていないということで、再編をさせていただいた。また、来年度開校予定の尾道みなと小学校ですけれども、久保小、長江小、土堂小、それぞれ耐震化がされていない、耐震化できないということで、今、仮設の校舎に移転して 4 年目になりますけれども、(2)に該当しているということで学校再編をさせていただいているということでございます。</p>
<p>質問者 B</p>	<p>私も分からないので、もう 1 度平たく説明していただきたいんですけども、前回の説明会の時に、重井地域の皆さんは学校再編に対する反対の意見は私はなかったと思っております。</p> <p>皆さんの意見は、学校名についてとか通学路の問題、そして服装の問題が多かったと思っております、再編に対する反対という意見はなかったというふうに理解をしております。</p> <p>それで、今日は多くのスライドの中身は、因北地区での話を時間を割いていただいたわけですが、重井で出された校名に対する意見の中で、「教育委員会のリード、考え方でそれは決まるんじゃないでしょ</p>

うか。」という意見もあったやに思うんですけれども、私には聞いていると学校再編の中身について因北が再編の対象ではない。重井は対象だと。だから、因北小学校、因北中学校でしたとこういうふうに言われたと思うんですけれども、これだけなんですか。

私は新聞で見えておりますと、コラムに記者さんが、校長先生に「なぜ因北小学校なんですか。」という質問に対して答えられなかったと。地域に学校があって、その名前を一切知らない、そんな校長先生がいていいんでしょうか。私は今回の問題、因北での意見が多く費やされたというのは、「因北地区の皆さんが、そのようにおっしゃられておるから難しいんです。だから、因北小学校に、因北中学校にするんです。」と、こういうストーリーしか思いが抜けないんですけれども。もう少し、なぜ、因北中学校、因北小学校というのを選択されたのか、こういうことを教育委員会としての立場でご説明をいただきたいと思います。多分、今のままだと、因北の地区の方が反対をしたから因北中学校になったよと。生徒数が再編の対象と対象外ということから、対象でない因北になった。これだけなんですか。もう少し分かりやすく説明していただきたいんですけど。よろしくお願いします。

小柳学校教育
部長

先ほど申し上げましたこの学校再編の考え方というのが、やはり私たちとすれば市内統一の基準ということですから、この考えに基づいて、「やらないという理由はない。」ということになります。ですから、大原則この考えに基づいて、私たちは、ぶれずに地域や保護者の方にご理解をいただきながら、説明を繰り返してきているということになりますし、そういった考え方について、市民、保護者の方に理解いただいた後に議会にもお諮りをして、議員の皆様にもご理解を求めてきて、現在の市内の小中学校があるということであります。

前回もこの地域の皆様からたくさんの熱い思いをいただきました。私はその場で申し上げましたのは、重井地域の思いだけではなくて、中庄の各地域の方の思いをお聞きしながら、雰囲気といいますか、校名変更をしようじゃないかというのが醸成されれば、教育委員会としても考えていきますよということを申し上げたというふうに思います。

因北地域、それから保護者説明会におきまして、皆さんからいただいた熱い思いを伝えさせていただきました。今日、因北の方の意見をお伝えさせていただきましたが、それとほぼ同じぐらいの時間をかけてお伝えをさせていただきました。そういったお伝えをさせていただいて、今、因北の保護者の方のアンケートをいただいたり、因北地域の方からのお声をいただく中で、私たちももう一度、どういうことが1番いいのかと

<p>質問者 A</p>	<p>考えさせていただきましたが、今の中では雰囲気や校名変更に関する賛同する意見というのがあまり得られなかったということで、こういう判断をさせていただいております。</p> <p>また、昨日、重井の保護者の方、就学前の方ともお話をさせていただきましたけれども、校名変更に関する意見というのはありませんでしたし、できるだけ早期に再編年度等も確定していただいて、準備をしていきたいということもいただいております。</p> <p>ちょっと今のね、もう一度ちょっとお伺いするんですけれども、重井は再編の対象であると、因北は再編の対象ではないということによろしいですかね。今の説明によると、重井は再編の、複式学級の早期解消が必要だから再編の対象であって、因北小については再編の、現段階では、因北小自体は再編する必要はないと捉えていいんですかね。ちょっと自分勉強不足なんですけれども、そこに1学年複数学級化の推進というのは、これは再編の対象にはなるんですか。重井は複式という課題があるから再編の対象になりますよ。その下の1学年複数学級化の推進は、再編のやっぱり理由になるわけですか。だったらですよ、だったら、あそこの数字を見てください、あれ。令和9年以降、因北だけじゃたら複数学級化にならないですよ、重井が入らんと。でしょう？重井の課題を解消する、言うたら向こうは課題がないから、重井の人は入れて大人しく入りなさいという。向こうは課題がないんだから入れてあげましょうみたいな。でも、1学年複数学級化の推進というのも、再編の対象となるのであるならば、あの数字からして、重井が入らないと1クラスになっちゃうんですよ。そういうことも考慮すべきなんじゃないんですか。今のを理由にするんならば。今のを全面的な理由ににとるわけでしょう、結局は。因北だけじゃたら2クラスにならないですよ。もうすぐ、来年、再来年。だから重井のためでもあるし、因北のためでもあるじゃないんですか、これは。ちょっと今のところ確認しましょう。なぜ因北小を提案するかっていうのを、やっぱり明確にしてくれんと前に進まんのですよ、これ。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>繰り返しになりますけれども、現在の子どもたちの状況から勘案しまして、複式学級を早期解消していくということです。1学年複数学級化というのはありますけれども、これは統合によって複数学級化を目指していくということが、こういった1学年複数学級化が適正な学校規模ということで、私たちは打ち出しておりますから、再編をするにあたりまして、できる限り複数学級化をしていきたいということで取組をさせて</p>

<p>質問者 A</p>	<p>いただいております。</p> <p>ということは、重井小も再編の対象であるし、因北小も再編の対象になるということでしょう。これを目指すわけだから、これを目指して再編するんだから。ちょっとそこら辺のところははっきりしてほしいんですよ。重井は今回一緒になってから複式学級の解消をできますよ。1学年の複数学級化というのも一緒になったら、因北小も解消できますよ。両方の課題が解消できますよ。だから両方とも再編の対象というふうに我々は捉えているんですけども、そこどうなんですか。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>私たちとすれば、現段階でこれまでの経過を勘案しながらやっておりますから、現段階で再編基準に該当するかしないかということで判断をさせていただきます。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>いや、だから、現段階言うても、令和9年スタート時点からもう、ああなんです。スタート時点から1年生は重井が行かんかったら1クラスになる。それがもう2年後には分かるとるんですよ。理由にならなでしよ、今の。全く理由にならない。これずっとですよ。重井が行かんかったらずっと1クラスになりますよ。重井が来てくれたおかげで2クラスになるわけですから。今の現状がこうだからというのは、ちょっと理解できない。もう少しその辺をきっちり説明してください。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>説明といっても繰り返してはしかないんですけども、私たちとしましては、重井小学校の複式学級の状況と中学校の今1年生が3人という状況がありますから、こういった状況を少しでも早く解消させていただいて、子どもたちの教育環境を整えて、こういう基準があつて、当然いろんなところで説明をさせていただきますけれども、私たちは、やはり子どもたちの教育環境を充実させるということが1番と思っておりますので、そういった観点から今回提案をさせていただきます。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>ありがとうございます。ちょっと中学校は置いておきましょう。ごっちゃになったら、訳分からんようになるんで。</p> <p>小学校の再編対象として目指すものは、複式学級の早期解消。これは理解できます。その下にちゃんと棒線を引っ張ってはくれないけれども、1学年の複数学級化の推進とそのために再編を進めていくんだって、あつこに文章に書きながら、現状はそうじゃないんだという、これ</p>

小柳学校教育 部長	<p>誰も理解できんと思いますよ、これ。すぐそこにあんな数字がありながら。そういうことじゃいけませんよ。適正な学校規模の確保のためにするんでしょ、今回。</p>
質問者 A	<p>1学年の複数学級化の推進ということで私たちは進めております。が、現実的には、例えば美木原小学校も4つの小学校が1つになっているんですけども、開校当時から1学級です。ですから、近隣の学校を再編したとしても複数学級化ができなかった事例もあります。尾道みなと小学校も、開校年度は複数学級化ができるんですけども、何年かすると1学級規模になってまいります。ですから、そういった状況もあります。実際にこういう状況ですから、合わせても1学級ということにはなっていくんですけども、平成23年12月の時に立てたこの再編計画からすると、下の2つ目の1学年複数学級化の推進というのは、なかなか今厳しくはなっている。市内全体で1学級しかない小学校の方が半分ぐらいになってきますので、そういった状況はあるんですけども、私たちとしましては、(1)の1番上の複式学級の早期解消ということで、重井小学校の子どもたちの教育環境をなんとしても、早期に設置していきたい、充実させていきたいということで、こういう提案をさせていただいているところであります。</p> <p>あの、しつこいようですけども、あつこに明文化されとるわけですよ、ああやって、尾道市がね。こういう課題を解消する、複数化を推進するために、再編が必要なんだという。そういうのをああやって文章化しながら、いや今回のケースは当てはまりませんとするわけでしょ。これ理解できませんよ、これ。初めて先ほどのようなあの回答を示されたわけですけどもね。我々は再編に対して反対はしておりません。早くすべきだと思ってます。向こうも再編には反対しておりません。</p> <p>ところが、前回ここで88名が集まって意見を述べました。あの意見が今日の説明の中に全く反映されてない。非常に厳しい言い方ですけども、あの意見が握り潰されたような、すごくね、怒りを覚えます。何のための説明会じゃったんか。前回、あんなさっきの説明いっこもせんかったですよ、対等ですか吸収ですか、いやいや新しい学校じゃあとか。今日初めて聞きましたよ。重井小学校だけが学校再編の対象で、実は向こうは再編の対象じゃないんじゃ。それが前面に出たら、それこそ重井は入れてくださいお願いしますになるじゃないですか。そういうような説明を因北小でもしたんですか、ほんなら。重井小は再編の対象で、因北小は再編の対象ではありませんから因北小学校です。それ聞いたらね</p>

因北小の保護者はそりゃ何で変えにゃいかんのん言うてなりますよね、そりゃ。僕らでもそう思います。もう少しね、納得のいく説明をしてほしいのと、我々が一番言いたいのは、住民の声にもう少し真摯に向き合っていたきたい。正直言って。我々ね、記録全部持ってますよ。全部ね、我々は意見をまとめました。記録として残っています。長々とね、長々と新しい学校の必要性がないのを長々と述べてもらいましたけどもね、どれくらい因北小校区で説明していただいたのかは分かりませんが、もう少しね、あの真摯に向き合ってほしいんですね、我々は。とりあえず以上です。

質問者C

再編について、前回の説明会の時も、住民の方から異論はなかったと思います。それで、一応、あの三庄、土生、田熊が因島南小学校になったのに、今回重井が因北小学校と統合、再編するのに因北小学校という部分についてはちょっとおかしくないかと、その部分について教育委員会は、片一方が因島南で、片一方が因北であると、そういう部分をどういうふうに考えるのかって言うのを聞いたと思うんです。それで、因島南にした時にはきっと校名を考える時に記録が残っていると思うんです。なぜ、因北があって因南小学校じゃないのかっていう。なぜ、因島南小学校にしたのかっていう時に校名がきちんと話し合われたと思うんです。その記録を見られましたか。その部分がやっぱりおかしいんじゃないかっていうふうなことで、あのお尋ねしたと思うんです。

そのことについて、先ほど学校教育部長の方から、重井小学校は再編の対象で因北小学校は再編の対象じゃないから因北小学校なんだっていうふうに回答されたと思うんですけど、先ほど、〇〇先生が、いや近い将来再編の対象になるじゃないかと。2年後には再編の対象になるじゃないかと、そういうふうなことの指摘があったと思うんですけど、因北小学校が再編の対象でないから、重井小学校が統合された時に因北小学校なんだと。もう吸収合併ですよ。

それと前回の説明会の時に、今日ここで出た意見は重井の地域がこうよった、ああよったっていうことじゃなくって、それを直接伝えるんでなくって、今日の要望を基に教育委員会としてどういうふうに考えるのかと、そういうことをきちんと整理した上で、因北地域の住民説明会に臨んでほしいというふうな要望をしたと思う。それを踏まえて、今日教育長が挨拶の時に、要望はきちんと伝えましたと、伝えて因北の意見を聞いて教育委員会で考えて、校名については因北小学校のままにするっていうふうなことだったと思うんです。

そうじゃなくって、私たちは、重井の要望をきちんと聞いて教育委員

会はというふうを考えるのかと、それを基に、因北小学校の住民説明会に臨んでほしいというふうに再度のお願いしたと思うんですよね。だから、いわゆる重井の要望、それを全部そのまま、こういう要望があった、ああいう要望があった、そういうふうなのを全部伝えて、因北さんどう思いますか。そういうふうなことになったら、住民同士のいがみ合いになるんですよね。そういうことは絶対避けてくださいって、〇〇先生も前回の説明会の時に言ったんですけども、それをそのまま伝えて、重井の住民説明会で教育委員会の言い方の問題であるから、きちんと伝えてくださいみたいな形のことまでね、それで私たちがお願いしたことまで、住民説明会の中で言われているんですよね。じゃあ住民としてお互いがやっぱりいがみ合う。そういうふうなことにならないようお願いしたと思うんです。そういう部分をというふうにお考えですかね。

小柳学校教育
部長

皆様方からいただいた意見というのは、お伝えさせていただきました。ただ伝え方というのは配慮して伝えたいつもりです。当然ですね、私たちも、地域の対立というのは子どもたちのためにならないということは考えておりますし、保護者の方もそんなことは望んでおられません。ましてや、私たちも中庄のいろんな方からお声を聞きますけれども、中庄の方もそういったことは望んでおられません。ですから、私たちも配慮しながら、皆様方の声を届けさせていただいたというふうに認識はしております。

それから教育委員会として、どう考えているのかということですが、重井の皆さん方からいただいた意見というのは持ち帰らせていただいて、どのような伝え方をするのかというのは、やっぱり内部でしっかりと話をさせていただいて、お伝えさせていただいたというふうに思っております。

今日は、その伝えた結果ですね、こういうお声をいただいたということで紹介をさせていただきました。その声をどのくらいお伝えするかというのもいろいろ、中でも考えたんですけども、やはりいただいた意見というのはできるだけお伝えした方がいいのではないかとということで、少し長めになりましたが、お伝えさせていただいたということになります。

また、因島南小学校の校名の件がありましたけれども、私が知る限りでは、因南学園構想というものが合併前、合併後にあったというふうに思います。これは最終的には、因南学園構想、因島高校の跡地に幼稚園・小学校・中学校の一体型の施設を造ることがありましたけれども、これはなかなかうまくいきませんでした。そのあと、『尾道市因島

	<p>土生町』とかですね、地名に因島が残ったということですから、因島南中学校、それから小学校になりましたけれども、校名については、因島南中も因島南小もさほど議論はされておりません。そのまま自然に決まっていったというような記録を見ております。</p>
<p>質問者D</p>	<p>いいですか？今、校名のことでね、何かその意見が出てます。このところに、レジュメですね、校名を変更する必要はないのではないかとというのが19件。だけれど、いや、変えた方がいいんじゃないかっていう意見はゼロだったんですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。</p>
<p>質問者D</p>	<p>ゼロだったんだ。私、性格悪いのかもわかりませんが、レジュメってそのような方向に向けていけるという可能性があるって、私ちょっと思っているもんですから。ちょっと本当に、校名を変更する必要はないのではないかとというのが19件。変更してもいいんじゃないかっていうのがゼロ件だったわけですね？そうですか、分かりました。</p>
<p>質問者E</p>	<p>私たちは、やっぱり、中庄の保護者、地域の方々に校名変更の話をする、絶対ネガティブな意見は出るだろうというふうに予想はしておりました。今回のアンケートの内容見ても、ほとんどが「する必要がない。」と。「別途出費が必要になるので、それよりは教育環境にお金をかけてほしい。」それはもう当然だと思うんですね、保護者にとっては。それで、今の段階では校名変更に対しての意見が醸成されていないというふうに結論付けたような言い方をされたんで、これが今日の結論ですか。今後ともこの結論は変わらないんですか。今日の説明会をもって、再度教育委員会として中庄の地域や保護者の方々に、また説明会を開く予定はあるんですか。</p>
<p>小柳学校教育長</p>	<p>中庄への説明会というのは、少し間が開くんですけれども、12月の中旬を予定しております。ですから、また、因北小中学校の保護者の方のアンケートでありますとか、昨日、今日の重井の方の中から出た意見を抽出しながら、角が立たないような内容で言っていきたいと思えます。私たちも、そんな対立なんて絶対望んでるわけではありません。教育委員会は、子どもたちのために、地域も保護者も子どもたちも新しい学校を一緒に創っていこうという気持ちになっていただけるように、皆様方に働きかけていきたいと思えますし、特に保護者の方、昨日も申</p>

<p>質問者 F</p>	<p>したんですけれども、不安なことがたくさんおありのようですので、その不安を1つ1つ取り除いていくようなことを今後もしっかりさせていただくということをお約束させていただきました。</p> <p>やはり、子どもファースト、子ども真ん中、子どものことを一番に考えた政策、施策を打ち出していくのが教育委員会だと思いますので、これは、最終的な結論だということではなくて、もっとここから教育委員会の出番があるんじゃないと私は思いますんで、アンケートを吸い上げた結果、ネガティブな意見が多いけれども、重井の住民としては、やはり今後5年後、10年後、あの時に重井の住民は一体何を考えとったんやと。僕らは一生懸命訴えたけども届かんかったんやと。何が悪かったんやと。最後までこの部分が残る感じがするので、そういううっ憤というかもやもや感ね、やっぱりしっかりと晴らしていただけるような、これからの取組をやっていただきたいなというふうに思います。</p>
<p>質問者 G</p>	<p>さっきの新しい学校を創っていくというのを言うちゃったのを聞いて安心しました。先ほど、中庄地区の説明会で、もちろん配慮されたというふうに言われたんですけど、説明会のがホームページに出ていますよね。それを見させてもらったんですけども、それで、部長だったですかね、言われたのが、「もし機運が高まれば、制服も校名、校章も変えなければならぬ。」ただ、その後で「いたし方ないことですけども」「いたし方ない」「仕方ないけれども一旦学校は閉じるようになる。」とある。これを読んだ時に僕がそう思ったのか、他の方がそれを見てどう思われるかは分かりませんが、ただ僕の中では全くそんな配慮はされていない。ちょっと言葉は良くないかもしれませんが誘導している。世論誘導しているような言葉にも取れます、客観的に。これは当然もう、言葉は社会性をもって独り歩きますから、たくさんの方が見られます。今、僕が言ったのが、僕個人の思いですけど、他の方ももしかしたら同じ思いを持たれるかも分かりません。ですから、配慮がされるのであれば、当然新しい学校を創っていく、そういったスタンスで言ってほしいと思うんです。今、再編の基準があるのは聞きましたが、その際、校名決定はどういった根拠に基づいて決められるんですか。何かあれば教えてください。今回でいえば因北がそのまま残るような、その根拠はどこにあるんですか。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>校名の決定について明文化されたものはありません。ありませんが。</p>

質問者G	根拠はないんですね。
小柳学校教育 部長	いえ、明文化されたものではありませんが、先ほどから説明しております再編基準を満たしている学校が集う時には、新設にさせていただいております。
質問者G	基準はいいんですが、それで校名は因北でなければならないということじゃないんですね。
小柳学校教育 部長	今回、校名については、因北にしなければならないということは勿論ありません。ですから、皆様方からいただいた意見を持ち帰って、中庄の説明会でもお伝えさせていただいたという経緯になります。
質問者G	ただ、中庄への説明会の報告を聞くと、両町への配慮、公平性が担保されていないということが、ものすごく感じられるんです。そういった姿勢で話をされると、僕らはとても不安です。中庄の人たちとは、こんなことやっている、それこそ対立しますよ。どんなふうに言われたのか分かりませんが、その文章だけではニュアンスは伝わりませんが。そこで配慮は本当にされていましたか。とは思えなかったですが、そこはどう思われますか。「いたし方ない」とはどういうことですかね。
小柳学校教育 部長	私のそういった答弁の中で、そういった言葉が出たのであれば、大変・・・。
質問者G	いや、出たのであればじゃなくて、ありましたよ。それってどう思われますか。決していい発言じゃないじゃないですか、「いたし方ない」というのは。どう思われますか。
小柳学校教育 部長	そういった言葉を使ってしまったということに対しては本当に申し訳ないと思っております。ただ、私たちとしましては重井の地域の皆さんの思いをやはり伝えさせていただくということで、配慮させていただきながらお伝えさせていただいております。
質問者G	ですが、それは配慮になってありませんでしたがね。そこはいいですか。配慮が足らなかったということはよろしいですか。

小柳学校教育 部長	私のその発言の中でそういった言葉が出たことについては、申し訳ないと思いますけれども、教育委員会総体としては配慮しながら対応させていただいたということでもあります。
質問者G	勿論そうあってほしいんですけれども。それで、公平性はどうしても担保されていないような気がするんですけれども、どんなですか。だから、因北でなければならないということが明文化されていない。そういったものがないのは分かるんですが。だから、因島南があれば、因島北があって、別におかしくもなんともないんです。ですので、名前を変えるとかそんな難しいことですか。
小柳学校教育 部長	これは前回も説明会で申し上げましたけれども、やはり中庄の相手もあることですから、そういった雰囲気醸成されればということで、この場でも説明させていただいたということです。 現在においては、そういった状況にないということで、私たちも判断させていただいて、今日の説明会に臨んでいるということでございます。
質問者G	醸成されていないとか、醸成されるような話ではなかったですかね。そこはもっと醸成されるようにしていただきたいかったんですが、醸成されなかったと第三者的なんですが、醸成されないような話ではなかったんですか。 あの時、重井の中ではいろんな意見が出ましたけど、みんな前向きに捉えて、新しい学校で進んでいこうと、そんな発言が多かったと思います。そういったことが、中庄の中では伝わっていないように思うんです。 また、これからも話し合いになるとと思いますが、前向きなところも、もっともっとアピールしてもらって、とにかく公平性の担保だけをお願いしたいと思います。
質問者H	質問と意見をちょっと言わせてください。 質問なんですが、アンケートは両方とも同じアンケートを取っていますか。
事務局	はい。
質問者H	ありがとうございます。資料の提示を見る限りでは、重井の方に、名前を変えるべきかどうかとかのアンケートは載っておらず、向こうの地

区の方のアンケートの結果とかを載せているので、これはちょっと意見を載せられても、ちょっとやっぱ対立するような感じがするなと思ったんで、そこは少し配慮してもらえたらなあと思います。

次はちょっと意見です。

再編と統廃合の違いが明確に向こうには伝わっているのかどうかというところが気になります。出された意見の中では、統合統合とあるんですが、統合は、規模の小さい学校が、大きい学校に行くというのが統合で、再編というのはお互いが一から検討して新しい学校を創っていくというのが再編になります。その認識が向こうに伝わっていないのであれば、名前を変えるということが出てきた時には「えっ！」となると思うんです。なので、そこをしっかりと伝えて、向こうに認識があった上で、話を進めていかないと、今のアンケートを見ると統合ばかりなんですよ、書いてある内容が。と思いますので、そこを教育委員会の方がしっかり話を、説明を丁寧にしてほしいと思います。

また、「学校名を変更する必要はないのではないか」19件、回答率45%、50%切ってます。これを根拠としていいのかどうかを考えてほしいと思います。

子どもの教育環境を大切にというふうに言われているんですが、重井小学校のアンケートには「学校が変わると行きたくない。」とか「心配だ。」という保護者の意見もあります。これは、子どもの教育環境を一番親も考えています。私も保護者なんで。その辺の配慮も踏まえて発言なのかなというのが、ちょっと気になりました。

あとは、平成23年度12月の段階では、再編基準を満たしているか満たしていないかという話はあったが、今の段階ではそこに貼ってある数値を見てもらうと、今の段階ではどうなのかと。それも含めて検討してほしいと思います。よろしくお願いします。

質問者A

公平性ということについて、前に、19件、こんだけ必要性はないですよというのを羅列してますけれども、1つ我々が疑問に思うことはですね、重井町民は、第1回が3月21日意見交換会、5月31日意見交換会とあって、そして9月18日に住民への説明会というふうになりました。勉強させてもらいました。

因北の保護者対象の説明会が初めて開かれたのが9月27日なんです。それまでは、一部の役員にはあったでしょうけれども、重井と同じような説明会は1度も開かれてないのが事実です。数はですね、保護者の説明会に集まった人数が因北は23名。地域の説明会は13名という。直接話を聞いているのはこれだけなんです。

アンケート答えていますけれども、19名の皆さんが当日参加しているかどうかは、必ずしもそうではないと、これはまあ想像がつく話ですよ。先ほど校名を変えた方がいいというのはゼロという話がありましたけれども、もっとはっきり言わせてもらえば、都合のいい数字だけが載っかってるなというふうに受け止めてしまうんですね。

その顕著な例が、11ページに因北中学校区地域からの意見というのが、校名に関して4点載っております。地域での住民説明会は13名。因北の方は地域に出向いて行って、これだけ意見を集めているわけです。校名変更する必要がないよという意見を集めているだけですね、これ。失礼な言い方です。これが全てではないはずなんです。だから、もうちょっとね、公平性が必要ですし、反対の最終的な結論を導いた理由が、校名変更について賛同する考えとあるじゃないですか。賛同というのは、どういう意味かと言うたら、他人の意見提案に対して賛成するということ。

つまり、教育委員会が因北の校区での説明会でもって、どこまで説明したのか僕らは分かりませんから、どこまで校名変更の必要もあるんです。こういう数字を見てください。こういう数字は示されましたか。示してないと思います。

どこまで、校名変更の必要性を向こうに提案したのか、これちょっと疑問です、正直。それが不透明な中で「賛同する考え」、提案がなかったら賛同もくそもないんです、これ。最後に「醸成された」とあります。醸成されたというのは、ある状態等を徐々に創り出すこととあるんです。これ自然には創り出せんのですよ、これ。

教育委員会が重井からこういう意見が出た。それを教育委員会として、整理してきっちり、こういうふうな変更の必要性もありますよというのを説明した上で、さっきのような意見が出てきているのなら分かるんですよ。僕らはそこらが分からんですからね。説明した説明したと言われても、どんな説明をされたのか、僕ら分からんので、想像の域は出んのですけれども、最後に、賛同する考えや雰囲気醸成されていないんだというのも、醸成するのはやっぱり我々じゃないですから。醸成させるのは教育委員会の仕事ですからね。よその校区から関心が低い、話題になることもない、これは我々の責任じゃないんです。それだけ情報が届いてないということ。そういうふうに我々は受け止めざるを得ないというか。分からんですからね。どんだけ、因北校区で積極的に発言したのかというのは。ただ、まあ、公平さに欠けるとするような気が今日の全般の説明を聞いて感じます。以上です。

小柳学校教育 部長	<p>公平性が担保されているのかということに対しては、重井の保護者説明会、それから地域説明会、それと全く同じ内容をまずは因北の保護者、地域の方にも説明させていただきました。加えて、地域から出たご意見というのを、教育委員会で精査してお伝えさせていただいたということですから、公平性というのは、説明会の時には担保されていることですし、今回の資料を提示するにあたりまして、様々な方に見ていただきながら、今回ご提示させていただいておりますので、全く教育委員会としてこっちに誘導しようとか、そういったものを含めて、今回こういったプレゼンを用意したものではありません。</p>
質問者 I	<p>3人子どもが重井を卒業したんですが、現時点で重井小学校、中学校の人数がこれだけ減少したっていうのは、数年前から合併するんじゃないかっていう噂が流れて、合併するんであれば、最初から因北にしてやろうという、途中で学校が変わるのはという親の気持ちで、あっちに行かれてる子どもたくさんいらっしゃいます。その結果、重井中学校に関しては、娘たちが行っている時は、長女次女そうでもなかったですけど、3番目の娘の時には、やはり、いずれ因北と一緒にするという噂が流れていました。その結果、生徒があっちへたくさん流れて、部活動自体ができなくなってくるような状況。その後の学年になると、部活の何々をしたいから人数の多い因北へ行くという生徒がたくさん増えています。</p> <p>逆に、よその学校でうまくいかなかった子どもさんが、2校転校されたり、3校転校されて、やっと重井で毎日登校できるようになったというケースもあります。登校拒否、その他、因北の方で学校に行っていないお子さんがたくさんいると保護者の方から伺っています。重井の子は、時々学校に行きたくないと思う子はいるが、先生や仲間の取組で、恐らくほとんどの子が入学した人数そのまま卒業していると思います。そういった良い場面はたくさんあると思います。</p> <p>その代わりに、人数を減少させているのは、「そのうち合併するんじゃないか。」という、そういう気持ちを保護者に持たせて、「じゃあ、子どもが最初からいずれ合併する学校に最初から入れてやろう。」という保護者の「途中で変わらせるのが不安だ。途中からあの大人数の中に入って行って上手くいけるのだろうか。」そういった気持ちが多分あって。今も、出生率自体は重井はそんなに悪くないです。小学校に行くのも、幼稚園もそうです。</p> <p>幼稚園も、いずれ小学校が因北になるんであれば、因島北認定こども園に行かせようとかいうふうに、それは当然だと思います。子どもの環境をあまり変化させずにそのまま進めてあげたいという親心だと思います。</p>

ますけど、重井小学校の人数減少は、そもそもそういう噂が流れたからであって、小学校中学校の教育方針とかそういったものが駄目だったわけではなくて、「今も残りたい。」と言う保護者もたくさんいらっしゃいます。話を聞かせてもらったので、新しい学校になったらカウンセラーを付けるとか、いろいろそういうメンタルの面をケアできるということ掲げてはいらっしゃいますけど、前回の説明会でも言いましたが、自分の弟が精神障害者になったと。ちょっといじめられてカウンセリングを受けたら治るようなものではありません。一旦いじめられたら、今25年、30年近くその病気を引きずっています。

因南小学校、中学校が合併した時も授業にならない、ポスターとか子どもの作品を貼っても破って歩く子がいて、警察が常駐しているという話を向こうの保護者から聞いたことがあるんですよ。それは、事実確認はしてないんですけども、こういった状況に因北もなるかどうかはわかりませんが、学校の名前を新しくしてあげるということで、両方の子どもが新たな学校へ行くという気持ちになると、因北の保護者の方と地域の方は、やっぱり、校名を変えることによって、たくさんのお金がかかる、制服とか校章とか校歌とかそういった物は、保護者としては、今着ている物が着れなくなるんじゃないかという金銭的な面をそのままですと、必ず、校名で戦ったとしても重井が負けます。なので、向こうの小学校、中学校を合併する時も、在校生の方の制服は教育委員会から支給されたというふうに、その時行かれていたお母さん方が言われていたし、バスの定期代も、教育委員会が全額負担したと伺ったんですけど、重井や因北小学校の子どもと同じ、そういう状況にしてあげることってというのは難しいんですかねえ。

因北中学校の制服、すごい値段が高くて、入学しても買ってあげられない。だから、卒業する時に、次に入学する子は予約をして、もう制服を譲ってもらっているという保護者の方が、重井にたくさんいます。それであれば、重井はそこまで高くないので、もっとコストを抑えた制服を3年間で、成長する子は3年間で1回は買い替えることもあるんですが、そういうわざわざ高い制服にするのではなくって、コストを抑えた制服にしてあげるのはどうかなと思って。

あとは、現時点で行かれている子の制服を変更することは多額のお金がかかりますけど、子どもの気持ち、重井の子が因北に入れてもらうのではなくて、新しい学校に、因北の子も重井の子も一緒に制服を新たに入れていくというふうに考えてあげることというのは、教育委員会では難しいですか。

小柳学校教育 部長	<p>まずは、子どもたちが元気に毎日登校してくれることが、保護者の方、それから私たちにとっても喜びだと思っております。そのための環境整備ということで、先ほどご意見をいただきましたけれども、スクールカウンセラー等、教職員の配置についてもしっかりと配慮していきたいというふうに思います。本当に子どもたちの笑顔あふれる学校、そんなものを目指していきたいと思っております。</p> <p>制服等については、これまでの市内の学校再編でもいろんなパターンがありました。再編を機に一新する場合がありますし、今ある制服を活かしていくということもあります。そういった中で、教育委員会も制服代の補助として、どういうふうなことができるのかということも保護者の方に提案させていただきながら決めてきた経緯があります。詳しいことは再編が決まって、準備委員会を立ち上げて、その中で学校・保護者・教育委員会とが中心となって話し合いの中で決めていく、そういったプロセスをこれまでさせていただいておりますので、制服とか通学路の問題、それから通学支援の問題、小学校のバスを活用した通学、そういったものについても、子どもたちがしっかりと毎日通えるように、そこは来年度以降、しっかりと検討していきたいと思っております。</p>
質問者 J	<p>この後の取組として、最初に説明があったんですが、こういった説明会をして、教育委員会で話し合っって市議会の方へ提出して決定していくという説明があったと思うんですが、何月議会にその提案をするのか。その時に、例えば校名については、先ほど、賛同する考えや雰囲気醸成されていないということで書かれつつたんですが、その時に、例えば仮称ということで校名については、まだ継続審議というようなことで、議会の方へ出すことができないのか。もう今日を最後に議会へ提案するのか、そこら辺のことを教えてください。</p>
小柳学校教育 部長	<p>今後の予定でございますが、私たち事務局には決定権がありませんので、教育委員会会議へ諮っていきたいと思っております。議会の方へは2月議会上程を目指して、議員の皆様にも説明させていただく予定でございます。</p> <p>校名については、例えば、これまでの事例ですと、校名が決まって条例改正をした例もございますし、尾道みなと小学校、中学校のように新設をする場合には、場所は決めますけれども、校名はまだ決まっていないというところで、条例改正をさせていただいたという経緯もあります。ですから、私たちとしましては、今日提案した中身で今後も取組はしていきたいと思っておりますけれども、決定をしていただくのは、最終的に</p>

<p>質問者K</p>	<p>は議会のご判断をいただくということになりますから、私たちのこれまでの取組の経過でありますとか、重井の皆様の思い、保護者の思い、因北の地域、それから保護者の思いを公平にお伝えしながらご判断していただくことになるというふうに思っております。</p> <p>今日の22ページの資料をちょっと出していただけますか。</p> <p>1番下の段に、尾道15年教育の推進ということに、1小学校1認定こども園の配置、推進と書いてありますけれども、重井のほとんどの方が、中庄にできた因島北認定こども園。これ因島北認定こども園です。因北へできたんですよ。その時点で多くの方が、小学校中学校も多分中庄へ行くなあとというふうな思いをされた方がほとんどではないかなと思っております。これが1点。</p> <p>もう1点は、教育委員会の眼鏡をかければ、因北小学校、因北中学校かも分かりませんがね。地域住民の、そして企業の眼鏡を見るとですね、因島北支店とか因島北店とか、こういうふうに名前を変えているんです。JA、郵便局辺りも名前を変えておまして、因島北というのが通り相場なんです。そうかと思って認定こども園を造られたのではないかなと思いました。それで、皆さんの期待は新しい学校というのは、そうではないかなあと勝手に思ったんですが、今までの話の中で、重井の方は懇談会には多くの方が出席した。ところが中庄学区の方は13人だったと。この状況を見て、私は、教育委員会の皆さんは安堵したんじゃないかなと、穿った見方ですけども、先ほどの説明会の日程の中で、問題があるであろう重井は先行してどんどん説明会がなされた。何も出ないだろうと思われる中庄は遅れてしまった。小田浦の説明会の中で、「中庄の説明会はもう済まされたんですか。」とこういう質問が出たやに聞いておりますが、そういった感じで、私は念頭からこの問題についての考え方が、教育委員会の眼鏡で見られているのではないかというふうに思っております。</p> <p>私たちは次の世代、次の重井の方々に、学校が無くなっただけで、校名がこうなっただけを正確に伝えないといけないと思っておりますから、それが正確に伝えることが、学校をこれからも支えていくことになると思っております。地域の反対があったから、それを重点に校名はこの学校名にする、そうではなくて、その意見を一旦教育委員会が飲み込んで、いろんな頭の中で回転されて、そして校名の説明をお願いしたいというふうに思っております。</p> <p>次回の説明には、ないかも分かりませんが、なぜこの学校名を選択したのだというふうな明快な答えを、スライド上映で流していただ</p>
-------------	---

<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>きたいなあと思っております。そこが、私たちは、次の将来、次の世代の人たちに申し送りをする、私は義務があると思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。</p> <p>校名についてのいきさつ、正確にどういうことなのかということ伝えてほしいということでしたが、今日の前半のやりとりでさせていただいたこと以上のものは、今のところありません。ですから、今のところ、これまでの取組の中で、教育委員会として、事務局として、現在は、現行のままいかせていただきたいということを考えております。ですけれども、諮っていくのは、教育委員会会議であり、市議会でありということ、今日この会で述べさせていただいているところでございます。</p>
<p>質問者K</p>	<p>決定ですか。だから。住民が今日の意見を聞いて、合意したというふうに受け止めとるわけですか。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>考えないといけないところはあると思ひますけれども、現在のところを見ますと、私たちの考えを、今日皆様方にお示しをして、ご理解いただく会という認識でありますので、今日、このようにご質問にお答えさせていただきながら、お答えさせていただいているところでございます。</p>
<p>質問者L</p>	<p>説明はした。ただ、統合のことで、いつも言われているのが、住民との合意形成を諮ることはよく言われていますよね。いろんなホームページ見てると、文科省の手引きにも書いてありますよね。そこで、いろいろとなかなかうまく進まない、揉めているという事例もたくさんありますけど。</p> <p>今日の会議で、これで合意形成図られたとはとても思へませんので、僕らも合意はできておりませんので、これで結論付けないでほしいのが1つと、いろんな数字、参加者、アンケート等数字が出てくると思うんですけど、例えば、保護者は、さっきも発言ありましたけど、もう不安で不安で仕方ないと思うんです。ましてや、重井の子が因北に向かってどんな形になるか分かりませんが行きます。僕らもいろんな保護者の話を聞くと、やっぱりどうしてもいじめられるという、こういったケースがたくさんあります。</p> <p>今年の夏であれば、暑いですから、当然もう汗びっしょりかいて子どもが学校に通う。その脇をスクールバスが通る。学校へ行くと、「お前らええのお、クーラーのきいたところで。」って言われて学校へ行きた</p>

	<p>がらない、行けなくなるというのをこの夏、聞きました。そんなこともあるので、保護者としてはなかなか、もしかしたら校名のところまで、なかなか思いがいかないかもしれません。それよりも、我が子がどんな環境の中でこれから勉強していくのか。人間関係、友達関係はどんなになるのか。放課後はどんな時間を過ごすのか。そういうことで頭がいっぱいで、こういうことが頭に余裕はないかもしれません。だから、そういうことを加味して、数字が上がってきたとしても、そこは教育委員会として思いを考えてほしいと思います。これはお願いです。</p> <p>それと、くどいかもかもしれませんが、例えばさっきの、「公平」ですか。公平にしたと、それは勿論そうだと思います。ただ僕らはそれを感じられない。だとしたらどちらを評価すべきかっていったら、される側の公平性、思いを評価するのが、もう社会通念上普通だろうと思います。ちょっと押さえておきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>司会者</p>	<p>お時間が来ておりますので、質問者の方、あと何人いらっしゃるのか確認させてください。質問がある方、挙手をお願いします。</p> <p>(3人挙手あり)</p>
<p>質問者 A</p>	<p>今日の話し合いでもって、合意形成ができるという受け止め方は絶対にしないでいただきたいなと思うのが1点目です。ただ、令和9年4月に一緒になるというところは、これはしっかりと、我々は実現に向けて、教育委員会も努力をしていただきたい。条例改正案を2月に通すと言いますが、その時には仮称〇〇小学校で提案していただいて、尾道みなと小中のように、開校準備委員会を開いてそこでしっかりと議論をしていくべきだと思います。こんな状況の中で結論を出すのは、非常に危険だと私は思っております。せつかく、尾道みなと小中という良い例があるんですから、あれに倣って、開校準備委員会を開いて、そこでしっかりと議論をするという。</p> <p>1番心配なのは、あまりにも情報というものが、ただ、ああいう情報、因北の保護者や地域はあの形では見てないですよ。見せてないでしょう。知らないんですよ。小さい重井が因北に来るんだと。何文句を言よるんな、重井の者がって。そういう状況に置かれると私は感じています。だから、正しい情報を基にしっかりと議論していったら、良い学校になるのではないかと思います。</p> <p>それと、学校名ばかり言よるんですが、もう1点、通学のことについてお願いします。来年の4月からたくさん子どもたちが因北中学校</p>

	<p>の方に通うようになると思います。令和9年と言わず、とにかく通学路の安全確保というものが喫緊の課題だと思います。これだけは、早急に取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>質問者M</p>	<p>重井公民館の方から、因島瀬戸田教育課の方に、町を代表しての要望事項を3件お送りしております。ご覧になってくださっていると思いますが、お答えいただけたらと思います。お願いします。</p>
<p>(質問1)</p>	<p>1 校名について、因北校区はもとより重井校区にも何ら諮ることなく「因北」以外の名称は1ミリも検討されていないように見受けられましたが、その理由を明確にしていきたい。市長あるいは教育長の一存とか。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>これについては、今日前半から終始やりとりをさせていただきました。もうその中に全部組み込まれていると思いますので、繰り返しいたしません。</p>
<p>(質問2)</p>	<p>2 校名変更にかかる出費を抑えて、児童生徒のために使うという説明もありましたが、そうなった場合、具体的にどのようなことにどれくらいの金額を使用できますか。</p>
<p>榎原因島瀬戸田地域教育課長</p>	<p>保護者からの、先ほどもアンケートをご紹介させていただきましたけれども、そのような意見は届いております。教育委員会からそのような説明をしたということではございません。</p>
	<p>校名変更することによる具体的な金額というものを提示することは難しいんですけれども、先ほど来からご説明させていただいております、校名変更するとなると、因北小中学校も閉校し、新設校を開校することになりますので、閉校・開校に関する費用が必要になります。例えば、閉校に関しては、4つの小中学校の閉校式、閉校記念事業に対する費用、開校に関しては、2校の開校式、校章、校歌、校章旗、制服、体操服等に対する費用、これらが全て必要になってくると考えられます。</p> <p>教育委員会では、先ほどから何度も説明させていただいておりますけれども、因北小中学校の教育環境整備として、施設の整備や人的支援の充実をできる限り図っていきたいと考えております。以上です。</p>
<p>(質問3)</p>	<p>3 重井町民として最も気になるのは通学の安全です。因島北インターバス停あたりから中庄への坂道を下りきるまでの道が特に危険と考</p>

<p>安 保 学 校 経 営 企 画 課 長</p>	<p>えます。因島高校に通う生徒とぶつかりますが、自転車に乗ったままではすれ違うことができません。道も狭く平面でない部分も多いので危険です。草もよく伸びるので、目に見える形での対策をお願いします。議会だよりも「合同点検を行い、危険個所は速やかに対策を講じる」とありました。</p> <p>子どもたちの通学路の安全対策は非常に重要であると考えております。尾道市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路候補となる道路を、学校・保護者・地域・道路管理者・警察・教育委員会等が、徒歩通学、自転車通学、両方の視点で合同点検を行います。合同点検により抽出された危険個所については、速やかに関係機関と連携し、安全対策を実施するとともに、学校においても安全教育に取り組んでいきます。</p> <p>また、小中一貫教育校準備委員会の中でも、通学対策の在り方、これは自転車通学も含み検討していきます。</p> <p>できれば年度内に、重井のローソン付近から因北のローソン付近までの県道367号を1回合同点検ができればと考えているところです。以上です。</p>
<p>質 問 者 N</p>	<p>因北中学校の保護者のアンケートから出された意見って19ページ出していただけですか。</p> <p>これなんですけども、1番最後の「制服や体操服を新しくするのは保護者負担が増えるので避けてほしい。」これは移行期間を設ければ別に新しくしなくていいので、必要はないのではないかの19件に入っているのはどうかなと思う。「大浜小学校と統合した時も校歌、校章も変わっていない。」、これは大浜小学校は、中学校は因北中学校へ通うんですね、だからそういう部分で大浜小学校の生徒っていうのは因北中へ行くんだっていう部分があるので、因北小学校に統合する時もそんなに問題、地元からの問題が出なかったんじゃないかと思うんです。だから大浜小学校と統合した時も校歌、校章が変わっていないっていうのは、ちょっと重井と因北の再編とは、ちょっと問題が違うんじゃないかなと思います。で、「今まで変わることがなかったのに、この度は変えるのはどうか。」っていうのも、今まで変わることがなかったというのは、大浜小学校と統合したことを言っているじゃないかと思うんですね。だから、同じことじゃないかと思っています。</p> <p>それで、下から4番目の「1番は児童生徒が楽しく安全快適に過ごせる環境を整えることだと思う。」これは本当に、その通りだと思うんです。だから、子どもたちが誇りを持って、重井小学校、中学校の生徒が</p>

<p>司会者</p>	<p>誇りを持って通え、元気に楽しく通える学校にするために、新しく「因島北小学校」という名前で、お互いに閉校して新しい小学校で誇りを持って楽しく学ぼうじゃないかっていうふうなことを私たちは言ってるんで、ただ単に、名前だけを変えるっていう意味じゃないんです。</p> <p>だから、重井小学校、中学校の生徒たちが本当に楽しく自分たちの学校に誇りを持って、因北小、中学校に一旦吸収されたんだっていうことじゃなくって、お互いが閉校して新しい小学校で誇りを持って楽しく元気に学んでいきたいっていう、そういう学校にしたいという、私の要望なんです。</p> <p>それでは質疑応答の時間を終了させていただきます。</p> <p>以上で本日の説明会を終わります。本日のご質問ご意見を参考にさせていただきながら、今後の学校再編に対する取組に活かしてまいりたいと思います。</p> <p>以上で閉会をいたします。地域の皆様、本日はどうもありがとうございました。</p> <p>(21:10 終了)</p>
------------	---

※議事録中の質問者を示すアルファベットは一連の質問の流れを示すものであり、異なるアルファベットであっても、同一の方のご発言である場合があります。